

氏名 瀧 田 史 洋

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学 位 授 与 番 号 博 乙 第 2082 号

学 位 授 与 の 日 付 平 成 2 年 3 月 28 日

学 位 授 与 の 要 件 博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）

学 位 論 文 題 目 SUPPRESSION OF LYMPHOKINE ACTIVATED KILLER (LAK)
CELLS BY IMMUNOSUPPRESSIVE SUBSTANCE
(免疫抑制物質-ISS によるリンフォカイン活性化キラー細胞の
抑制)

論 文 審 査 委 員 教授 木村郁郎 教授 赤木忠厚 教授 寺本 滋

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

インターロイキン 2 (IL2) による免疫応答に対する免疫抑制物質 (ISS) の抑制作用につき検討した。リンフォカイン活性化キラー (LAK) 細胞の活性誘導は高濃度の ISS (1000 $\mu\text{g}/\text{ml}$) により著明に抑制された。しかし低濃度の ISS (250 ~ 500 $\mu\text{g}/\text{ml}$) では、活性誘導の抑制は認められなかった。また ISS には IL 2 の活性に対する阻害作用は認められなかった。phytohemagglutinin (PHA) 刺激リンパ球幼若化反応系に於ける IL 2 の産生は ISS により抑制されなかった。しかし、PHA 幼若化反応系における IL 2 レセプターの表現は ISS により有意に抑制された。以上より ISS は IL 2 レセプターの表現を調節することで IL 2 を介する免疫応答を抑制することが示唆された。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は免疫抑制物質 (ISS) によるリンホカイン活性化キラー細胞の抑制について研究したものであるが、従来十分観察されていなかったインターロイキン 2 (IL-2) による免疫応答についてこのキラー細胞を用いて本物質の効果を検討したところ、著明な抑制が認められ、その機作として IL-2 の活性阻害とか産生抑制でなくて IL-2 レセプターの発現の抑制を認めており、重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。